

INTERNATIONAL STUDENT COLUMN

胎児への検査や治療に興味を持ち 海外に留学を決意!

林 伸彦 千葉大学 2011年卒業

初期研修2年目に2か月ほど、アメリカ、イギリス、ベルギー、スペイン、中国の胎児科で短期研修をし、その後2015年から4年間、海外で本格的な胎児科研修を行いました。主にロンドンのKing's College Hospitalで、The Fetal Medicine Foundationのフェローとして胎児診断外来や胎児治療に携わりました。世界各国から常に約100人くらいのフェローが集まっており、国による法律や文化の違いが胎児

医学の発展にどう影響しているのかを学ぶことができました。日本は、世界的には珍しく妊娠初期の胎児スクリーニングが普及していない国です。一方で、NIPTの登場により、妊娠初期の胎児評価が求められ始めています。千葉大学で研修をすれば、妊娠中の胎児生理学を考えながら、胎児の正確な評価、それにより可能になる両親へのカウンセリングなどを一緒に学ぶことができます。



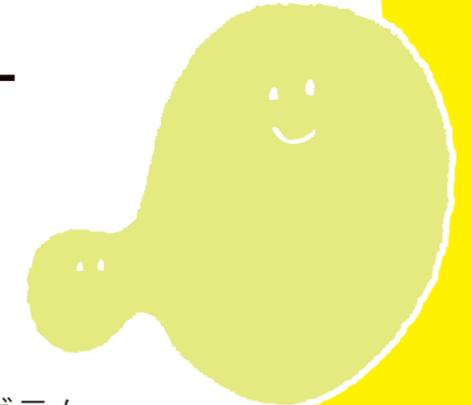
女性を生涯にわたり支えるベストな診療を目指す



CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

Department of
Gynecology and
Maternal-Fetal Medicine

千葉大学医学部附属病院
婦人科・周産期母性科研修プログラム



東京湾、千葉市街を望む “丘の上の病院”です

千葉大学の医学部、薬学部、看護学部がある、亥鼻(いのひな)キャンパスに位置し、緑豊かな環境の中にあります。

医局員の出身大学

千葉大学、金沢大学、弘前大学、山口大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、秋田大学、旭川医科大学、三重大学、佐賀医科大学、浜松医科大学、琉球大学、群馬大学、筑波大学、聖マリアンナ医科大学、岐阜大学、福島県立医科大学、埼玉医科大学、愛媛大学 など

医局員の留学先

University of Texas Southwestern Medical Center (米国)
Northwestern University (米国)、University of British Columbia (カナダ)
King's College Hospital (英国)、国立循環器病研究センター (大阪市) など

- 医師/歯科医師 904人
(勤務日数4日以下またはパートタイム含む) ※2020年4月1日現在
- 平均外来患者数 44,434人
- 新入院患者数 20,048人
- 平均在院日数 12.3日



婦人科・周産期母性科は、千葉県各地の現状と2025年以降の地域医療ニーズを見据え、大学及び地域の医療機関並びに千葉県の3者とともに、持続可能な医療、質の高い医療をめざし、千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センターと連携しています。

お問い合わせ

千葉大学医学部附属病院 婦人科・周産期母性科
TEL : 043-226-2121 FAX : 043-226-2122 E-mail : ishikawa@chiba-u.jp

「研修説明パンフレットを見た」とお伝えください。





女性の疾患をトータルで診ています

生水 真紀夫 婦人科・周産期母性科主任教授

女性の心と体は、胎児期から小児・思春期を経て成人期、そして老年期まで大きく変化します。その間に、さまざまな疾患や健康問題、性の問題を経験します。とりわけ、妊娠そして出産は最もダイナミックな変化です。さまざまな困難を乗り越えて新しい命を迎える、そんな素晴らしい瞬間に、医師としてかかわることができます。医師としての迅速かつ適切な判断・処置が母子の命に直結する、やりがいのある仕事です。

当科では、緊急手術のグレード分類、コードむらさき、3.5次救急などの緊急アクションコードを整備し、日々ドリル

を行い「誰もが、どんな時でも、迷うこと無く」緊急対応できるようにしています。さらに、患者さんも医療者も安心して分娩に望むことができる、病院との連携をはかる”ゼロの会”地域連携システムを立ち上げて「母体死亡ゼロ」に向けて成果をあげています。

婦人科では、がんの拡大手術を実施する一方、子宮形成術など妊孕性の温存に十分に配慮した丁寧な手術も実施しています。内視鏡手術やロボット支援手術、子宮鏡手術も積極的に取り入れています。卵巣がん、子宮体がん、絨毛性疾患の分野では患者数も多く、様々



な症例を経験することができ、婦人科腫瘍、生殖、内分泌、細胞診、臨床遺伝、婦人科内視鏡など様々なサブスペシャリティ資格を取得できます。私が常に大切にしよう心がけているのは、「一つの症例から学ぶ」こと。一つの症例から学ぶことができる量や質は、「学習者の学び方」に規定されます。そのような姿勢で日々行った診療の成果を国際的に評価の高い雑誌New England Journal of Medicineに発表することができました。皆さんにも、診療と研究が一体となる場で一緒に学んでいただきたいと思います。



それぞれの領域のプロフェッショナルによる専門性の高い指導が自慢です

三橋 暁 診療教授

一般的に産婦人科は周産期、腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアと4つの柱があります。当科ではそれぞれの領域の専門医が在籍しており、どの分野に進むにしても十分な研修が可能です。生涯かけて数度しかない症例は、その経験そのものがエビデンスです。

一つひとつの経験が臨床家の熟練・技能につながり、EBMのひとつの輪を形成します。当科の専門研修プログラムで多くの症例を経験し、将来の財産にしてみたらと思います。本プログラムに参加していただき、未来の産婦人科医療を支える皆さんと一緒に手術や研究をできることを楽しみにしています。

医学を学び、創るという経験を私たちと一緒にしてみませんか？

碓井 宏和 准教授

医学を学び始めた時に、学ばなければならないことの膨大さに目眩を感じた記憶はないでしょうか？これからの数年間は、学生時代に勉強したことをさらに深め、自立した医師へ成長してゆく大切な時期です。当科には、指導医・先輩医師から「学び」ができる十分なリソースがあると自負しています。

医学・医療は、膨大な積み重ねにより、常に進歩・変化してきました。学ぶ・使うことに加えて、「アップデート」「創る」ことも必要です。一緒に医学を学び、創る経験をしてみませんか？



最先端の産婦人科医療を学べる千葉大学で、オールラウンドな産婦人科医を目指しませんか？

専門研修プログラム

大学病院と連携病院を組み合わせることにより、多数のcommon diseaseを経験でき、質の高い専門研修を早期にスタートできる欲張りなプログラムです。

研修期間：3年間 1年次に千葉大学病院で基礎を学び、2年次・3年次に研修連携施設で産婦人科応用を学ぶ

基本コース

1年次	スタートアップレクチャー：産婦人科、妊娠・分娩の基礎、生殖補助技術の経験 など
2年次	産婦人科応用①：良性手術、正常妊娠・分娩管理、外来診療の実践 など
3年次	産婦人科応用②：地域医療、ハイリスク妊娠・分娩管理の実践、婦人科悪性腫瘍の診断・治療、生殖補助技術の適応と実践など

オプションコース 3年目は、経験症例数によって、希望によるオプション研修を行うことができます。

- 周産期重点研修・・・ハイリスク妊娠管理を重点的に学べる研修
 - 婦人科腫瘍重点研修・・・拡大手術・がん患者の全身管理を重点的に学べる研修
- ※以下の研修は、千葉大学病院を研修中に短期で履修可能です。
- 新生児研修・・・NICUでの新生児管理を重点的に学べる研修
 - 麻酔研修・・・全身麻酔管理、脊椎・硬膜外麻酔手技を重点的に学べる研修
 - 産科クリニック研修・・・正常分娩・地域医療を重点的に学べる研修
 - 不妊クリニック研修・・・体外受精など高度生殖補助医療を重点的に学べる研修

産婦人科研修の4つの特徴

1 屋根瓦方式の手厚い指導・教育システム



診療を学ぶには、上級医に教わるだけでなく、自らが学生や初期研修医に教えることも有用で、自分の足りない知識や技能、態度などを再確認することができます。当科では専攻医が上級医の指導のもと、主治医として患者さんを受け持ち、患者さんの管理やオーダー、治療方針などを自ら考えます。また専攻医自らが初期研修医の指導や学生教育の一端も担ってまいります。

2 プレゼン能力の研鑽と治療方針のプロセス構築



症例のカンファレンスは患者さんの治療方針決定に重要であり、ここでの議論が患者さんの予後に直結すると言っても過言ではありません。当科ではこのカンファレンスを通じて、専攻医が患者さんの治療方針決定のプロセス、プレゼンテーションスキルを学びます。また、症例から得た新しい知見は積極的に学会で発表し、論文執筆の指導も受けられます。

産婦人科初期研修プログラム連動コース

初期研修時に産婦人科コースを選択した専攻医のためのプログラムです。修了要件を2年間で修了することを目指し、サブスペシャリティ研修も可能です。

- ※サブスペシャリティ専門研修の症例数は、カウントされません。
- ※他専門研修プログラムへの国内留学も、希望があれば選択可能です。

育児・復職支援研修コース

妊娠・出産によって一時的に職場を離れた医師や病氣療養した後に復職をする医師、男女問わず、育児で研修に十分な時間が取れない医師を支援するためのプログラムです。

- ※育児支援では、院内保育の可能な病院を中心として、日勤帯を基本とした研修プログラムをそれぞれの希望に合わせて作成します。
- ※研修期間は、基本3年ですが、研修進捗状況に合わせて延長も可能です。
- ※地域研修は、保育施設利用可能な連携病院で行います。

それぞれのライフスタイルに合わせ、
楽しく、有意義な研修をしよう！



院内保育体制も 万全です！



千葉大学病院の敷地内保育園



千葉大学病院の学童保育



3 症例が豊富だから手技実践の機会が多い！



周産期母性科では、まず通常の分娩管理と帝王切開を覚えさせます。特に帝王切開は、半数以上の症例を専攻医が執刀します。婦人科では、卵巣がんの拡大手術、腹腔鏡、ロボット支援下手術など、最先端かつ高難度の手術に触れる機会があります。これらの手術では、まず先輩医師の手術と一緒に入り、その手技・骨盤の解剖を目で見て覚えてもらいます。研修連携施設で様々な婦人科手術を経験し、サブスペシャリティ研修が始まるまで難しい手術を執刀する機会があります。

4 即戦力となる技術を磨く特別セミナー・講習会



千葉大学には、各専門分野のスペシャリストが在籍しています。系統だった講義を用意していますので、ぜひ研修の糧としてください。また周産期急変対応セミナーや腹腔鏡縫合セミナー、LEEPセミナーを定期的に行っています。

着実に力をつけられるいい環境
なのがとてもうれしいです！





千葉で学ぶ 産婦人科診療



当科の専門研修プログラムには、基幹病院である当院をはじめ、千葉県内を中心とした27の主要病院が参加、新しい時代の産婦人科医療を担う人材を育てています。

24 沼津市立病院は、静岡県沼津市にあります。

千葉県内

- ①小張総合病院
- ②君津中央病院
- ③帝京大学ちば総合医療センター
- ④松戸市立総合医療センター
- ⑤国立病院機構千葉医療センター
- ⑥船橋中央病院
- ⑦千葉市立海浜病院
- ⑧順天堂大学医学部附属浦安病院
- ⑨国保旭中央病院
- ⑩千葉市立青葉病院
- ⑪千葉県がんセンター
- ⑫千葉徳洲会病院
- ⑬千葉メディカルセンター
- ⑭東京歯科大学市川総合病院
- ⑮東京女子医科大学八千代医療センター
- ⑯東邦大学医療センター佐倉病院
- ⑰成田赤十字病院
- ⑱国際医療福祉大学成田病院
- ⑲船橋二和病院
- ⑳日本医科大学千葉北総病院
- ㉑船橋市立医療センター
- ㉒東京ベイ・浦安市川医療センター
- ㉓くぼのやウイメンズホスピタル

千葉県外

- ㉔沼津市立病院

地域病院

- ㉕千葉ろうさい病院

地域病院(生殖)

- ㉖加藤レディースクリニック
- ㉗新橋夢クリニック



婦人科・周産期母性科
ホームページへ

INTERVIEW

先輩に聞きました！

先輩たちがどんな風に考えて産婦人科医を志したのか紹介します。いろいろな考えに触れてぜひ参考にしてください。



酒井 希望 埼玉医科大学卒業

もともと千葉に縁はなかったが、初期研修を千葉県内で行い、そこで出会った産婦人科の先生方の人柄の良さに惚れ、千葉大学に入局。出身大学に関係なく、のびのびとした環境で専攻医研修を行っている。

産婦人科専攻医1年目

自分のライフスタイルに合わせて 多様な働き方が選べる

産婦人科といえば、やはり分娩。新しい命が誕生する現場は何度経験しても感動し、母子が笑顔で退院していく姿をみると産婦人科医になってよかったと感じます。一方で、お産の1分1秒を争う緊迫した現場に遭遇したときに怖さや自分の不甲斐なさを感じることも多々あります。そんな時、的確に状況を判断し、次々とベストの治療法を実践する先輩方の格好良い姿を見ると、気合が入り、次は自分もできるよう、もっとがんばろうとやりがいを感じます。

千葉大学の強みは症例数が多いことに加えて、先生方の人柄がとてもよく、指導が手厚いことだと思います。外来・病棟管理・カンファレンスなど、すべてが勉強の場で研修は毎日刺激的です！学会発表もたくさん経験できます。発表は毎回緊張しますが、症例についてだけでなく、スライドの作り方から自分の発表の癖まで細かく指導していただけます。産婦人科は女性の一生に関わる魅力的な科であり、周産期、婦人科腫瘍、不妊、生殖内分泌、女性医学など専門分野は多岐にわたります。それぞれのスペシャリストがそろった千葉大学で、一緒に産婦人科医としての1歩を踏み出しませんか？

専門研修プログラムのポイント

多数の施設による包括的な研修

- 1 多彩なニーズの専攻医を受け入れ
- 2 これまで別々の専攻医研修プログラムを実施していた施設が統一フォーマットで研修を担当

充実した研修体制

- 1 自らの研修成果を評価して、個々の研修プランを調整
- 2 スムースにサブスペシャリティ研修に移行
- 3 リサーチマインドを育成(希望者は研修中に大学院に進学も可能)

当科で取得できる専門医・認定医

- ・産婦人科専門医
- ・周産期専門医
- ・がん治療認定医
- ・婦人科腫瘍専門医
- ・細胞診専門医
- ・生殖医療専門医
- ・内分泌・代謝専門医
- ・超音波専門医
- ・臨床遺伝専門医
- ・内視鏡技術認定医
- ・女性ヘルスケア専門医

研修プログラムの流れ

1年次 研修届を提出、研修開始

- 千葉大学病院で入院患者を受け持ち、全身管理を行う。
- カンファレンスに参加し、プレゼン能力や診療の知識を深める。
- 上級医の指導のもと、帝王切開、婦人科疾患の手術執刀を経験する。
- 可能であれば、論文を執筆する。

2年次以降 専門医取得まで

- 研修連携施設でcommon diseaseの治療経験を積む。
- 地域病院で地域医療を学ぶ。
- 手技、学会発表、論文執筆の経験を積む。

専門医試験

専門医取得後、大学院で研究やサブスペシャリティの専門医・認定医を取得するため、大学やがんセンターなどの修練施設で、さらに研鑽を積む。



埜 真輔 秋田大学卒業

専攻医研修を市中病院で行い、専門医を取得。その後、自分の診断能力や考え方、手技をもう一度鍛え直したいという気持ちがとても強くなり、千葉大学産婦人科に入局。

産婦人科専門医取得後のライフプラン12年目

大学での勉強は、アオハル

入局当時は、大学院で研究と臨床の二足の草鞋でした。手術や病棟管理が終わってから研究に取り組む日々…日中に家族との時間を作るためとはいえ、早朝や夜遅くまでの実験は、とても辛かったですね。ただその一方で、部活動のようで楽しくもありました。あの時、論文を書くために論文をたくさん読んだこと、臨床で難しい症例をたくさん積んだことは、確実にレベルアップに繋がったと思いますし、基礎系だけでなく臨床系の論文も同時に指導していただいたので、統計学の重要さや難しさなども学べました。大学院卒業後には、国内留学で腹腔鏡の勉強もさせていただき、さらなるスキルアップができました。

医局にネガティブなイメージを持つ方が多いかもしれませんが、今よりもっとレベルアップしたい方やもっと勉強したい方には、メリットは大きいと思います。千葉大学なら、多くの論文を無料で検索することができるので、論文や診療方針に悩んだときに大きなアドバンテージになりますし、それぞれの領域の専門家がいるので、飽きることなく学べますよ！

PICK UP!

当科が誇る6つの特色

PICKUP!

① 周産期プロジェクトZero

当科では、周産期死亡をゼロにするため、産科大量出血などの周産期救急を積極的に受け入れています。緊急救命時の診療科を超えた連携をスムーズにするために、緊急の輸血を即座に行えるシステム「コードむらさき」を運用しています。定期的なシミュレーション訓練を救命救急科・検査部・輸血部などと他職種と合同で行っています。当科では産科合併症、胎児診断はもとより、周産期救急を数多く学ぶことができます。



卵巣がんは、手術でのがんばりが生存期間の伸びに確実につながるので、医師としてのやりがいを実感できますよ!



「Team Ovary」メンバー
錦見恭子 助教

PICKUP!

② 卵巣がん拡大手術

卵巣がんは腹腔内に播種しやすく、進行して発見されることが多い悪性腫瘍です。この卵巣がんの治療成績は、腹腔内に広がったがん病巣をどれだけ確実に切除できたか、残存腫瘍の無い状態にまで切除できたかにかかっており、外科医としての腕を発揮できる分野です。当科では、卵巣がん専門の手術チーム「Team Ovary」を立ち上げました。大腸・横隔膜・脾臓などへの播種に対し、拡大手術を実施しています。この専門チームにより、生存期間の中央値が2倍に伸びました。また、卵巣がんの患者数も増加し、卵巣がん治療の「High volume center」になりました。

PICKUP!

③ 子宮体がんの妊孕性温存療法

子宮体がんは、肥満・インスリン抵抗性・耐糖能異常がリスク因子として知られ、近年増加傾向にあります。当科では、若年性子宮体がんに対する妊孕性温存療法(黄体ホルモン療法)に糖尿病治療薬メトホルミンを併用した医師主導治験を行っています。ガイドラインに沿った治療だけでなく、臨床試験を通して、新しいエビデンスの構築を目指しています。



PICKUP!

④ 絨毛性疾患研究

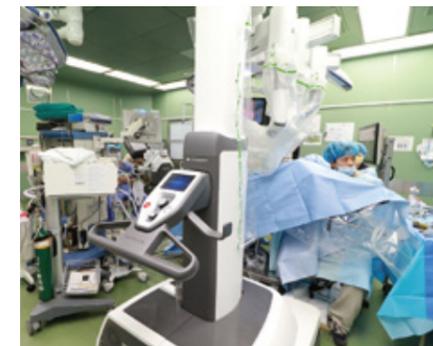
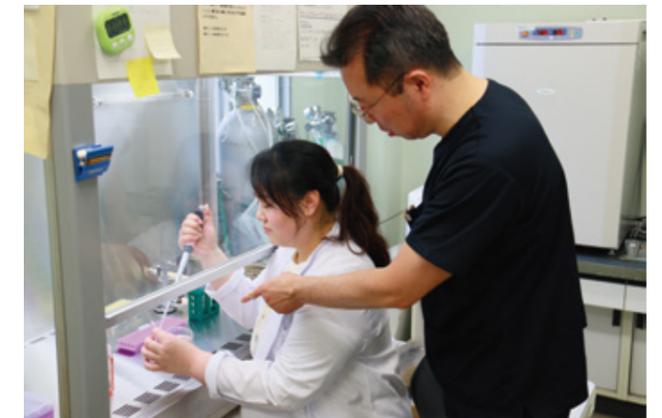
絨毛性疾患は稀少疾患です。当科では、多くの胎状奇胎、侵入奇胎、絨毛がんの患者さんの診療を行っています。そのため、絨毛性疾患の治療、管理を豊富な症例の中で学ぶことが可能です。研究面では、胎状奇胎のDNA診断を中心として、様々な臨床研究・基礎研究を行っています。現在のメインテーマは「なぜ、胎状奇胎から侵入奇胎が発症するのか?」です。一緒に、この謎解きに挑戦しようという若手医師を募集中です!

PICKUP!

⑤ がん生殖医療

白血病や骨軟部腫瘍、若年性乳がんなど若い世代で悪性腫瘍に罹患した患者さんに対し、体外受精・顕微授精・胚の凍結保存など生殖補助医療を応用した妊孕性温存療法を積極的に行っています。

高度生殖補助医療の実際とがんサバイバーへの妊孕性温存に関するカウンセリングを学ぶことで、不妊治療の基本、他診療科との連携、多職種の連携の重要性を理解することができます。



PICKUP!

⑥ da Vinciによるロボット支援手術

当院では、手術支援ロボットda Vinci Xiが導入されており、婦人科をはじめ、泌尿器科、呼吸器外科、食道胃腸外科がロボット支援手術を行っています。

手先がぶれず、3Dの視野で手術を行うことができるロボット支援手術はこれからますます需要が増えると予想され、適応となる疾患、術式も年々拡大しています。

これからは
ロボット手術の時代かも!?
まずは開腹手術の基本を学んで、
次はロボットの操作も覚えよう!



MESSAGE

指導医や関連病院からの
メッセージ

先端医療を実践する医師による 熱心な指導が魅力です！

千葉大学の医局員は皆が指導熱心。自らが最先端の医療を実践する傍ら、後輩医師に糸結びの基本から複雑な症例へのアプローチ方法、診断に至るプロセスなどを懇切丁寧に指導します。また、貴重な症例から得られたリサーチクエストを解決するために、臨床研究、トランスレーショナル研究を行っています。臨床・研究・教育の3本柱を実践し、千葉県の周産期医療・婦人科医療の砦として最高の医療を提供すべく日々成長し続けている当科で私たちと一緒に働きましょう。

石川 博士 医局長
1995年 金沢大学卒業



産婦人科医として必要な 知識と技術を余すことなく 学べるプログラムです

周産期は母体と胎児両方の観点から診ていくことが重要です。特に専攻医研修は医師としての骨格を作る大事な時期です。産婦人科の最初を学ぶのに、手技だけでなくそれぞれの専門家から基本的な知識から発展的な考え方を学ぶことはその後の医師人生で役に立つと思います。また当科は紹介患者、救急搬送症例も非常に多く、病棟管理、外来、救急、手術をバランスよく経験できます。また専攻医には、積極的に学会発表、論文作成を行っていただいています。

尾本 暁子 助教
1998年 山口大学卒業



千葉市立青葉病院 松本 玲子

当院は年間約400件の手術を行っているため、様々な手術の執刀を数多く経験できます。産科は妊娠初期胎児精密超音波検査と妊娠高血圧腎症リスク評価を行っており、産科超音波の研修を受けることができます。

千葉医療センター 岡嶋 祐子

総合型の専攻医研修施設で産科・婦人科全般を学ぶことができ、気軽に他科に相談できるのが特徴です。特に骨盤底疾患(骨盤臓器脱/尿失禁)症例数は、関連施設の中でトップクラスです。

千葉県がんセンター 田中 尚武

早期婦人科がんに対する腹腔鏡下手術などの低侵襲手術、標準治療が困難な進行がんなどに対する遺伝子パネル検査を用いた個別化治療など、あらゆる婦人科がんの治療に対応しています。手術を中心に婦人科がん治療の基本を学べます。

成田赤十字病院 小幡 新太郎

成田市を中心とした、医療圏の中核病院です。年間母体搬送100件、分娩600件、婦人科手術400件、うち腹腔鏡手術が150件以上あり、充実した研修生活を送ることができます。

君津中央病院 木村 博昭

4市唯一の3次救急・地域周産期母子医療センターとして診療しており、分娩数、婦人科疾患ともに豊富です。手術の執刀や分娩は、ほぼ全例を専攻医に担当していただいています。

千葉ろうさい病院 川野 みどり

当院は地域の中核病院として、ハイレベルな医療を提供しつつ、皆さんに親しまれる地域密着型の病院です。患者さんと「心の距離」を近くし、常に寄り添う診療を心がけています。

千葉市立海浜病院 飯塚 美德

当院は、地域周産期母子医療センターとして、千葉市の周産期医療の一端を担っています。周産期医療に興味のある方、大歓迎です。

千葉メディカル センター 伊藤 桂

当院では不妊治療を中心とした婦人科診療を経験できるのが特徴です。年間400を超える採卵を行っているほか、腹腔鏡手術も数多く行っております。ぜひ当院で生殖内分泌について一緒に勉強していきましょう。

松戸市立 総合医療センター 藤村 尚代

松戸は、東京都に隣接する人口49万人の市で、利便性が高く、各学会に参加しやすい環境です。周産期・腫瘍・良性疾患など、多岐に渡る症例を多数経験できます。一緒に働き、学びましょう。

このメッセージは一部の
千葉県内の連携施設からいただいています

特徴のある
研修施設ばかりで、
充実した研修が
できそう！

